

陸前高田民泊



高田松原津波復興祈念公園
パークガイド



陸前高田で学ぶ旅

— 教育旅行プログラム —



タネアート体験



東日本大震災
津波伝承館



陸前高田市立博物館



野外活動センター



防災
クロスロードゲーム



広田湾遊漁船体験

目次

1. （一社）陸前高田市観光物産協会	2
1-1. 高田松原津波復興祈念公園パークガイド	2
1-2. パークガイドタリフ	9
2. （一社）マルゴト陸前高田	10
2-1. 総合パンフレット	10
2-2. タリフ一覧	19
3. 東日本大震災津波伝承館	23
3-1. 見学のモデルケース	23
4. ワタミオーガニックランド	35
4-1. 体験プログラム等紹介資料	35
4-2. 震災学習＋SDGs学習タリフ	44
4-3. 団体様お食事案内チラシ	45
4-4. お弁当チラシ	47
5. 岩手県立野外活動センター	49
5-1. 利用案内	49
5-2. イベント情報	51
5-3. 料金表	52
6. NPO法人SET	53
6-1. 民泊パンフレット	53
6-2. 民泊タリフ	58
7. 陸前高田市立博物館	59
7-1. 総合パンフレット	59
8. 団体連絡先一覧	61



教育旅行用資料

【震災ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために2021年6月より新しく始まった高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。

高田松原津波復興祈念公園 国営追悼・祈念施設

この場所は、東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓とそこからの復興の姿を高田松原の再生と重ね合わせて、未来に伝えていくための公園です。

復興祈念公園には5つの“震災遺構”が残されており、震災・復興の記憶を感じることができます。



復興祈念公園内に残されている震災遺構

奇跡の一本松



～ 復興への希望の象徴の遺構 ～

陸前高田ユースホステル



～ 復興への希望の象徴の遺構 ～

旧道の駅タピック45



内部の見学が可能になりました

～ 津波の威力を伝える遺構 ～

下宿定住促進住宅



～ 津波の高さを伝える遺構 ～

気仙中学校



内部の見学が可能になりました

～ 防災教育の重要性を伝える遺構 ～

人数

最大 260 名 まで対応可能

所要時間

約 40 分～120分

※ 100名様以上で複数個所をご見学の場合は120分お時間が必要です。

パークガイド

パークガイドでは公園内を、陸前高田市観光物産協会から認定を受けた“個性豊かな”地元住民がガイドがご案内いたします。震災遺構である『奇跡の一本松』をはじめ、パークガイドの同伴を条件として内部の見学が許可されている『気仙中学校』や、『旧道の駅タピック45』といった公園内の震災遺構を中心に“震災・復興・これから”を、それぞれの経験をお伝えしながらご案内させていただきます。



Point

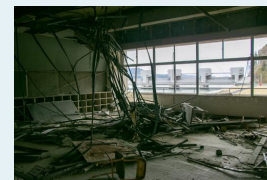
震災遺構

気仙中学校

2021年より、校舎の内部3階までガイド同伴のもと見学が可能になりました。

気仙町にあった中学校。場所は気仙川の河口付近にあったため、津波が堤防を越えてからわずか数分で校舎屋上近くまで津波が達しました。しかし、生徒たちは先生の指示のもと、津波が到達する前に高台へ避難していたため、全員無事でした。

震災遺構として残された気仙中学校は、日頃の学習と訓練の結果、犠牲となった方が一人もいなかったとして防災教育の重要性を伝える遺構として位置づけられました。高田松原津波復興祈念公園パークガイドの同伴を条件として、震災当時のまま残されている旧気仙中学校の内部を見学することができます。



【震災ガイド】 高田松原津波復興祈念公園パークガイド 『 陸前高田の震災遺構について 』



震災遺構

奇跡の一本松

かつて高田松原にあった約7万本の松林のなかで、東日本大震災の津波に耐えて奇跡的に残った一本の松。その松は、大津波に耐えたその姿から「奇跡の一本松」と呼ばれ、復興への **復興への希望の象徴の遺構** となりました。

樹齢173年、高さ27.5mもある奇跡の一本松は、残念ながら2012年5月に枯死が確認されましたが、復興のシンボルとして後世に受け継ぐために保存整備を行い、現在は**モニュメント**として当時と同じ場所に立っています。



震災遺構

陸前高田ユースホステル

奇跡の一本松の目の前にある建物。元々は高田松原の中にあった宿泊施設。青少年を中心に親しまれてきました。津波で建物の一部は倒壊したものの、奇跡の一本松と同じく **復興への希望の象徴の遺構** として残されることとなりました。なお、奇跡の一本松が流されずに残った理由の一つとして、この陸前高田ユースホステルが一本松の防波堤になったことが挙げられています。



震災遺構

下宿定住促進住宅

下宿定住促進住宅は、高田松原津波復興祈念公園が面している国道45号線沿いにある5階建ての市営住宅です。下宿定住促進住宅を襲った津波の高さは**14.5m**。津波は4階部分までを完全に水没させ、5階の床面まで押し寄せました。現在立ち入ることができませんが、**津波の高さを伝える遺構** として保存されています。



震災遺構

道の駅タピック45

震災前の道の駅。国道45号沿いに整備された、**岩手県道の駅第2号の道の駅**であり、観光の中心拠点でした。タピック45の内部では、大きな壁が崩れている様子を見ることができます。崩れた壁は耐力壁といい、地震をものともしない壁でしたが、大津波によって破壊されました。タピック45は **津波の威力を伝える遺構** となっており、旧気仙中学校同様に、高田松原津波復興祈念公園パークガイドの同伴を条件として、内部を見学することができます。



震災遺構

気仙中学校

気仙町にあった中学校。場所は気仙川の河口付近にあったため、津波が堤防を越えてから**わずか数分**で校舎屋上近くまで津波が達しました。しかし、生徒たちは先生の指示のもと、津波が到達する前に高台へ避難していたため、全員無事でした。気仙中学校は、日頃の学習と訓練の結果、犠牲となった方が一人もいなかったとして **防災教育の重要性を伝える遺構** として位置づけられました。高田松原津波復興祈念公園パークガイドの同伴を条件として、震災当時のまま残されている旧気仙中学校の内部を見学することができます。

震災遺構と合わせて公園内をご案内いたします。



団体のお客様のご予約・お問い合わせ

パークガイド受付事務局（一社・マルゴト陸前高田）

電話：090-7528-8182 / メール：info@mrgt.or.jp

【営業時間】平日／9:00～18:00



ご予約は下記URLまたはQRコードの専用申込フォームよりご予約ください。
<https://takanavi.org/shinsai>

団体の以外のお客様のお問い合わせ

『一社・陸前高田市観光物産協会』へお問い合わせください。

電話：0192-54-5011

メール：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

【営業時間】8:30～17:30／年末年始は除く）



防災教育の重要性を伝える遺構 実際になかに入ることができ、震災当時のすがたをそのまま残した中学校は、津波の威力・怖さ・避難の大切さを続けます。



震災遺構・気仙中学校 海の近くにながらも全員が助かった学校

岩手県陸前高田市に残されている5つの震災遺構のひとつ『気仙中学校』

気仙中学校は、気仙川という大きな川の真横・河口がすぐ目の前にある、3階建ての校舎です。東日本大震災の地震発生から20分後には、3階建ての校舎は屋上まであっという間に津波に飲み込まれ、襲った津波の高さは校舎14.2mでした。

当時の生徒・先生たちは、迅速な避難行動ができ、わずか12分で高台まで避難。無事、全員が助かることができました。

気仙中学校は、日頃の防災学習と避難訓練から、犠牲者が1人もいなかった学校として『**防災教育の重要性を伝える遺構**』として位置づけられ校舎の内部見学が可能となりました。気仙中学校は、高田松原津波復興祈念公園パークガイドの同伴を条件として、震災当時のまま残されている気仙中学校の内部を3階まで見学することができます。



見学時にお渡しする冊子は、この地域の新聞社(東海新報社様)協力のもと、作成されました。なかには、フロアマップ・当時の貴重な写真・当時の校長先生のインタビューなどが収められています。

校舎のなかは、震災当時のまま・人の手が加えられない状態で残されており、世界的にも貴重な『津波災害による遺構』です。

- ヘルメットを着用し、ガイドと共に校舎の中へ。(ヘルメットはガイドよりお渡しします)
- 1階 昇降口 → 2階 教室へ → 3階 教室・当時の黒板 → 音楽室 → 2階 職員室・校長室 → 1階 被服室 → 最後のメッセージボード をご案内していきます。



内部の様子



見学時の様子



校舎内に入場する際はヘルメットを着用いただきます。ヘルメットはガイドよりお渡しいたします。



高田松原津波復興祈念公園パークガイド 震災遺構・気仙中学校

防災教育の重要性を伝える遺構
海の近くにもありながらも全員が助かった学校



【震災ガイド】 高田松原津波復興祈念公園パークガイド 『モデルコース』

所要時間：60分

*奇跡の一本松コース

【震災遺構】奇跡の一本松

【震災遺構】陸前高田ユースホテル

防潮堤・海を望む場

高田松原再生地・広田湾・遠目からの市街地



*旧道の駅タピック45コース

【震災遺構】旧道の駅タピック45

防潮堤・海を望む場

高田松原再生地・広田湾
遠目からの市街地・奇跡の一本松



*気仙中学校コース

【震災遺構】気仙中学校

防潮堤・海を望む場

高田松原再生地・広田湾
遠目からの市街地・奇跡の一本松



所要時間：90分

*タピック45・奇跡の一本松コース

【震災遺構】旧道の駅タピック45

40分

遺構内部見学(タピック1階部分)

防潮堤・海を望む場

高田松原再生地・広田湾
遠目からの市街地・奇跡の一本松

【震災遺構】奇跡の一本松

50分

【震災遺構】陸前高田ユースホテル



*気仙中学校・奇跡の一本松コース

【震災遺構】気仙中学校

60分

遺構内部見学(気仙中学校3階まで)

【震災遺構】奇跡の一本松

30分

【震災遺構】陸前高田ユースホテル



所要時間：120分

*防災教育の重要性を考えるコース

震災遺構である『気仙中学校』は、2021年度から内部3階までの見学が可能となりました。なぜこの校舎が残されたのか、当時ここに通っていた生徒たちはどんな行動をとったのか。ガイドと共に、避難訓練の大切さ、日常生活での心がけをお伝えします。

【震災遺構】気仙中学校

60分

遺構内部見学(気仙中学校3階まで)

防潮堤・海を望む場

高田松原再生地・広田湾
遠目からの市街地・奇跡の一本松

【震災遺構】奇跡の一本松

60分

【震災遺構】陸前高田ユースホテル



献花台にて献花・黙とうをご希望の場合は事前にご連絡ください。

- ご案内の際は、各クラス・バスごとに1名ガイドが付きます。
- 旧道の駅タピック45への入場は、**1度に1クラスまで**とさせていただきます。
- 気仙中学校への入場は、**1度に2クラスまで**とさせていただきます。
- 上記のクラス以上の団体様の場合は、ほか公園内見学場所と組み合わせてのご見学となりますのでご了承ください。
- 100名様以上で複数個所をご見学希望の場合は、120分のお時間が必要です。
- 人数が多い団体様の場合、ご希望の見学場所に合わせてローテーション表を作成しお渡しいたします。
- 東日本大震災津波伝承館と組み合わせてのご利用も可能です。ご相談ください。(例：津波伝承館60分・パークガイド60分／計120分など)

高田松原津波復興祈念公園



復興祈念公園内に残されている震災遺構

気仙中学校



内部の見学が可能になりました

～防災教育の重要性を伝える遺構～

奇跡の一本松



～復興への希望の象徴の遺構～

陸前高田ユースホステル



～復興への希望の象徴の遺構～

旧道の駅タピック45



内部の見学が可能になりました

～津波の威力を伝える遺構～

下宿定住促進住宅



～津波の高さを伝える遺構～

【震災ガイド】 高田松原津波復興祈念公園パークガイド 『避難ルート』



高田松原津波復興祈念公園は、東日本大震災津波の浸水区域です。

■『地震』と思ったらまず身の安全を確保 ■揺れが収まり次第、避難の準備 ■『津波注意報』や『津波警報』が発令されたら速やかに高台へ避難
地震の揺れの大小にかかわらず、津波が来る可能性があります。落ち着いてガイドの指示に従い行動してください。

No.

■ 体験メニューの種類

震災ガイド・見学

■ 商品素材名称

高田松原津波復興祈念公園パークガイド

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

震災遺構のご見学が可能です

【概要】

高田松原津波復興祈念公園パークガイドは、東日本大震災の教訓と陸前高田市の魅力を伝えるために、2021年6月より新しく始まった高田松原津波復興祈念公園内をご案内するガイドサービスです。

パークガイドでは公園内を、陸前高田市観光物産協会から認定を受けた“個性豊かな”地元住民がガイドのご案内いたします。震災遺構である『奇跡の一本松』をはじめ、パークガイドの同伴を条件として内部の見学が許可されている『気仙中学校』や、『旧道の駅タピック45』といった公園内の震災遺構を中心に“震災・復興・これから”を、それぞれの経験を交えながらご案内させていただきます。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影180		
種別	見学	料金	※1
受入人数	最大260名様程度まで	所要時間	45～120分（見学行程による）
営業時期	通年	営業時間	9:00～18:00 ※2
集合場所	東日本大震災津波伝承館前付近	解散場所	現地
駐車場状況	大型バス専用駐車場あり	現地ガイド	パークガイド
予約申込期限	2週間前程度	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：090-7528-8182（専用番号） FAX：0192-22-7420 MAIL：takata-parkguide@mrgt.or.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

＜記載例＞

※1

教育旅行団体（ひとりあたりの料金）

●20名様以上の場合…小学生 550円／中学生～高校生 1,100円

●120名様以上の場合…中学生～高校生 825円

●20名様未満の団体／一式19,800円

●気仙中学校に入場する場合…入場料として500円（気仙中ガイドブック付き）

※2

10月～3月までは17:00まで（気仙中学校入館は16:00まで）

● 二次交通情報

交 利 通 機 関 能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付 近 情 報	

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

高田松原津波復興祈念公園パークガイド
受付事務局（一般社団法人マルゴト陸前高田）

専用番号：090-7528-8182

固定番号：0192-22-7410

FAX：0192-22-7420

MAIL：takata-parkguide@mrgt.or.jp



教育旅行のご案内

あなたと 陸前高田を つなぎます

MARUGOTO connects

YOU with RIKUZENTAKATA





一般社団法人 マルゴト陸前高田

2011年3月11日に発生した東日本大震災による大津波で、陸前高田市は中心市街地のほとんどを失いました。このまちではいまなお“ゼロからのまちづくり”からの“復興”が進められています。

マルゴト陸前高田では、震災後の2014年から「陸前高田を訪れ・滞在してもらえるような仕組み・窓口」をつくるため、すでに訪れていたボランティアの方々の受け入れをきっかけに、企業研修や教育旅行の受け入れを始めました。

震災後、ボランティアで来てくれた方々をはじめ、「陸前高田にきたい」と言ってくださる方々との交流を、未来のまちづくりに繋げて行くことを念頭に活動を行っています。

主たる事業の内容

- 地域の自然、商工業、人的資源を活用した「学び」の産業化
- “交流人口拡大のため”『学び』を核として陸前高田と気仙地方の持つ様々な魅力や価値を全国に伝えること
- 教育旅行・企業研修の誘致及びコーディネート
- 外国人観光客の受け入れ

組織の理念

陸前高田の魅力あふれるひとたちと、訪れるあなたを繋ぎます。

Mission: 交流の挑戦

Vision: 時代に合わせた出会いを創り続ける

Value: 人生の可能性の幅を広げる

設立・歩み

- 2014年… 陸前高田観光物産協会内の専門部会として「まるごとりくぜんたかた協議会」が発足
- 2016年… 一般社団法人として独立・陸前高田市の委託事業として「民泊」の受入を開始
- 2017年… 陸前高田市の委託事業として、外国人観光客受け入れ環境の整備を開始
- 2018年… eスポーツに関する事業、郷土芸能に関する事業等を多岐に展開
- 2019年… 全国からの民泊(主に教育旅行)4,000名以上の受け入れを実施
- 2020年… 新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業規模を大幅に縮小
- 2021年… 委託事業を終了し、自主事業としての組織運営を開始
- 2022年… 教育旅行・研修事業の受入を本格的に再開





まちの課題と向き合い、ポジティブな受け入れへ ご要望に応じた団体向けのプログラムの作成とご提案

陸前高田ではさまざまな魅力あふれる“場所”・“ひと”・“体験”があります。
 ですが、受け入れ可能な人数はおおよそ20名程度の場所が多く、団体の受け入れが課題でした。
 マルゴト陸前高田では、人数が多い団体様でも陸前高田で時間を過ごしていただけるような、
 調整・ご提案を行っております。活動を始めてから多くの方々との繋がりを大切に、点と点を繋ぎ、
 みなさまと陸前高田をお繋ぎします。

プログラム作成で大切にしていること

東日本大震災から13年目を迎える2023年。
 大津波で壊滅的な被害を受けたまちの“いま”と、“これまで”と“これから”の姿を伝え、
 『ひととの交流を通じて、陸前高田のいまを体感していただくこと』を大切にしています。
 この場所での学びは災害への備えだけでなく、陸前高田で過ごし出会ったひととの時間を通じて、
 少しのきっかけを持ち帰り、人生の経験のひとつとして役立ててほしいと思っています。
 “これまで”と“これから”を繋ぎ、『被災地は悲しいことが起こった場所』という事実のほかに、
 いまの陸前高田の姿、まち・ひとの経験をお届けしたいと考えています。



東日本大震災を知り、災害を知る

- 震災ガイドや津波伝承館、残されている貴重な震災の遺構から学ぶ
- 高田松原津波復興祈念公園を通じて、陸前高田市を知る
- さまざまな地域のひとたちから話を聞き、災害を自分事として考える

【気持ち】の振れ幅を大切に



復興のいまを体感

- 10m嵩上げされた新しい市街地からこれまでとこれから知る
- 陸前高田の未来に向けた活動を知る
- 地域の一次産業や根差した体験を通じて風土を知る
- 海と共に生きて生きていくまちの覚悟とその姿を知る

“気付き”のきっかけをこの場所で



教育旅行のコーディネートについて

人数規模に応じたプログラムをご提案・調整します。

～ 20 名	約 20～80 名	約 80～360 名
ご希望に応じた オリジナルプランの作成	コンテンツ組み合わせのご提案 ローテーションの作成	
目的に沿ったプログラムを いちから作成	実施可能なコンテンツの中から、 ご希望に沿った内容をご提案	大人数の受け入れが可能な 場所・コースにてご提案
臨機応変に対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内各種ガイド関連・震災遺構見学 ● 東日本大震災津波伝承館 ● 講話・自主研修 ● 各種体験プログラム ● 昼食(ご希望に応じて調整) など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興祈念公園のガイド・震災遺構見学 ● 東日本大震災津波伝承館 ● 講話・自主研修 ● コース別体験学習(バスごと) ● 昼食(お弁当) など

💡 探求・テーマ別のご選択も可能

震災・防災学習 津波被害の震災遺構の見学・入場 避難所運営ゲーム まちなか自主研修 など

津波の震災遺構から災害の恐ろしさを学び、復興の姿をとらえ、自ら考える学習



自然体験・アクティビティ 遊漁船 トレイル 牡蠣養殖棚の見学 砂浜アクティビティ など

陸前高田の自然・海と触れ合い、自然のおおらかさ・リアス式海岸の特殊さを体感する学習



けせん地域の文化・歴史・風土を知る 気仙大工 米崎りんご 産金はじまりの地 など

別視点から陸前高田を感じ、『気仙文化』を体感する学習



地域交流体験 地場産品加工体験 郷土菓子づくり 交流会 手芸 など

地域の住人・移住者からこの地での暮らしを知り、想像をふくらませる学習



参考モデルプラン | オンライン事前学習 + 震災学習・自主研修・体験学習

事前学習

オンラインの活用

～ 知識の導入 ～陸前高田市の概要など
(1回:約60分～90分)

震災講話・まちづくり講話
高田松原津波復興祈念公園ガイド
東日本大震災津波伝承館
ご要望テーマに沿った講話など

さまざまなテーマに沿った現地のお話をオンラインで



陸前高田市とは



地域産業について

現地学習 1

震災学習

高田松原津波復興祈念公園
パークガイド
震災遺構・復興祈念公園内の見学
(約60～90分)

東日本大震災津波伝承館
(約45～60分)

講話・防災クロスロードなど
(約60分)

事前学習とのすり合わせ・対比、現地の情報を知る



震災遺構への入場見学



講話・防災クロスロード



現地学習 2

自主活動

班別まちなか自主研修や
訪問ヒアリング活動や
(約60-120分)

テーマに基づいたワークショップ
(約60-90分)

体験活動

市内のさまざまな体験活動

遊漁船・わかめの芯抜き・農作業
地域ふれあい体験
フレスコボール・潮風トレイル
SDGsオーガニック体験・仮設住宅体験
気仙文化体験・発酵体験
(約90-120分)

10mかさ上げされた新しい中心市街地を散策



自主研修やヒアリング活動など



活動にはアウトプット

体験を通じて、まちの暮らし・自然を体感



遊漁船・牡蠣養殖いかだ見学



砂浜でのアクティビティ

現地学習では、①・②いずれかを選択・または組み合わせ

お食事もお相談ください

ご希望・組み合わせに応じて、市内の飲食店のお弁当・地域ならではの食事をお届けします。



教育旅行の料金のご案内

教育旅行コーディネートの種類

1	コンテンツ単体の申し込み	コンテンツの中からひとつを選択
2	コンテンツを複数組み合わせ	コンテンツの中から希望のものを複数ご選択 ローテーションの作成・市内の全体調整
3	オリジナルプランの作成	ご希望に応じたプログラムをいちから作成 テーマに沿ったプログラムを陸前高田で考えたい場合

- 料金は別紙にてご案内いたします。
- 昼食の調整も可能です。お弁当・店舗でのお食事・体験での食事など調整いたします。ご相談ください。

料金について

コーディネート項目	発生費用項目		
体 験	各種体験料	+	体験保険料 + プログラム調整費 事前調整・当日／事後サポート費含む

※【1】コンテンツ単体のみの場合は体験料のみとなります。

講 話 オンライン	各種講話1名／一式料金 講話者への謝礼金、会場使用料、事前調整、当日／事後サポート費含む
	ヒアリング・インタビュー／一式料金 事前調整、当日／事後サポート費含む

コーディネートのながれ

お問い合わせ・ご予約

プログラムのご提案・お見積り

各種調整
事前打ち合わせ・下見・視察の受入など

当日のサポート

実施後のサポート

プログラムご提案書イメージ

■ 陸前高田市内 体験プログラム行案①：野外活動センターを利用の場合			
団体名		人数	生徒 87名・引率 3名 (計 90名)
活動内容	震災学習、復興館中見学、体験学習など	日程	2023年
1日目: 2023.1.6(金)			
時 間	1号車 (約45名)	2号車 (約45名)	
11:23	到着 JR一ノ宮駅 (東北新幹線11:23着)		
	(乗 バス移動 野外活動センターまで約1時間40分～2時間程度)		
13:10	到着 【宿泊先】若手県立野外活動センター		
13:10-13:45 (約35分)	昼 食 (学校弁当お持ち込み)		
	【備考】 野外活動センター(仮称)を予定		
13:50-14:50 (約60分)	野外活動センター入所式・オリエンテーション(施設説明)		
	(乗 バス移動 約20分)		
15:20~	15:30~16:10 (約45分) 東日本大震災津波伝承館 【施設説明付き】	15:30~16:00 (約30分) まちなか見学 【ご案内・マスコット施設説明】	
	(乗 バス移動 約5分)		
	16:30~17:00 (約30分) まちなか見学 【ご案内・マスコット施設説明】	16:10~17:00 (約45分) 東日本大震災津波伝承館 【施設説明付き】	
	(乗 バス移動 約20分)		
17:30~	到着 【宿泊先】 野外活動センター		
19:00~20:00 (約60分)	交流会 賛助者さん(予定)		
【食事利用時間】夕食17:30~19:00 【宿舎利用時間】18:00~22:00 (施設説明) 22:30			
【お問い合わせ】 一般社団法人 マル・IT・遊前高田 TEL:0192-22-7410 / FAX:0192-22-7420 / MAIL:info@mygt.or.jp (担当: 齊藤)			

- お問い合わせ内容に応じて、ご提案書を作成しお送りいたします。
(お問い合わせから約2～3日程度)

ご予約について

- 実施日前の約2か月前程度までにお問合せ・ご連絡ください。
- ご予約の際は、右記①～⑥を明記の上、メールまたはFAXにてご連絡ください。

- ① 予約希望日
- ② 団体名・人数
- ③ 希望の内容、旅行・研修の目的など
- ④ 食事の有無
- ⑤ おおよその予算(1名あたり)
- ⑥ 担当者様の連絡先

キャンセル料金

10日前	7日前	3日前	前日	当日
10%	30%	50%	70%	100%

- 実施の10日前より発生いたします。
- 但し、台風等の悪天候や緊急事態宣言等の自治体からの要請により、旅行自体が止むを得ず中止となった場合には、キャンセル料金は頂きません。
- お食事につきましては、各受け入れ先の料金に基づきキャンセル料金が発生いたしますので、ご注意ください。

食事のアレルギー対応

- 対応が必要な方がいる際は、事前にアレルギー情報をご提出ください。
- 細かく対応が必要な方がいる場合は、学校・保護者・受け入れ先とご相談のうえ、対応させていただきます。
- アレルギー情報記入用のテンプレートが必要な場合はお問合せください。

下見・視察の受け入れ

- 下見・視察予定実施の、約2週間前程度を目安にお問合せ・ご連絡ください。
(日にち・所要時間・希望箇所を明記の上ご連絡ください)
- 本体が決定済みの場合、2回のご案内まで料金の発生なく対応いたします。(対応時間:60～180分程度まで)
- 本体が未決定の場合は、1回のご対応につき、10,000円(税込)の料金が発生いたします。

移動について

ご移動が必要な場合は、タクシーやレンタカーのご利用をお願いいたします。

- 市内にてレンタカーをご検討の際はご相談ください。

ご予約・お問い合わせ先

TEL／0192-22-7410 FAX／0192-22-7420
MAIL／info@mrgt.or.jp

【営業時間】平日9:00～18:00

お電話に対応できない場合がございます。
お問い合わせの際は、お手数ですがメールにてご連絡いただけますと幸いです。

周辺施設連絡先・避難マップについて

市外局番(0192)

	名 称	住 所	電話番号
役 所	陸前高田市役所	陸前高田市高田市高田町下和野100	54-2111
消 防	陸前高田市消防本部	陸前高田市高田町栃ヶ沢210-2	54-2119
警 察	大船渡警察署 高田幹部交番	陸前高田市高田町栃ヶ沢205	55-2022
	大船渡警察署	大船渡市盛町下館下14-2	26-0110
観 光	陸前高田市観光物産協会	陸前高田市高田町字並杉300-2	54-5011
病 院	岩手県立高田病院	陸前高田市高田町太田56	54-3221
	岩手県立大船渡病院 救命救急センターあり(24時間対応)	大船渡市大船渡町山馬越10-1	26-1111

▼ 市の避難マニュアル・避難マップ一覧は下記URLよりご確認ください。

右下、QRコードからも確認ができます。

陸前高田市『避難マニュアル』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3903.html

陸前高田市『指定緊急避難場所・指定避難所等の一覧』

https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/bosai_anzen/bosai_shobo/bosai/3/3932.html

▼ 下記の情報を見ることができます。

陸前高田市津波防災マップ

土砂災害・洪水ハザードマップ

指定緊急避難場所一覧

指定緊急避難場所とは、災害による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全確保を目的として、命を守るために緊急的に避難する場所のことを指します。

指定避難所一覧

災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、また災害により自宅が被災し自宅に戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを目的とした施設のことを指します。





陸前高田の 過去 ・ 現在 ・ 未来 を通じて 体感する心の振れ幅



一般社団法人 **マルゴト陸前高田**
Mail : info@mrgt.or.jp

〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字鳴石50-10
TEL : 0192-22-7410 FAX : 0192-22-7420
<http://marugoto-rikuzentakata.com>



No.

■ 体験メニューの種類

体験・見学・講話

■ 商品素材名称

市内コース別体験学習

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

興味に応じて体験を選択

【概要】

大人数の受け入れに対応できるように、コース別の体験学習を準備しております。各コース20～40名様程度まで（最大6～7クラス程度の受け入れが可能です）

遊漁船体験、農業体験（米崎りんご）、SDGs学習コース、トレイル体験、気仙文化体験、ふれあい体験などをご準備。ご希望に応じて、さまざまな体験プログラムとの組み合わせが可能です。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	※ 1	料金	ひとりあたり約3,850円（税込）
種別	体験・見学・講話	所要時間	120分
受入人数	最大260名様程度まで	営業時間	9:00～18:00 ※ 2
営業時期	通年	解散場所	現地
集合場所	※ 1	現地ガイド	あり
駐車場状況	大型バス駐車可能な駐車場あり	業者コミッション	なし
予約申込期限	約2か月前		
問合せ先	TEL : 0192-22-7410 FAX : 0192-22-7420 MAIL : info@mrgt.or.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

＜記載例＞

※ 1 それぞれの体験場所、人数に応じて場所の調整あり

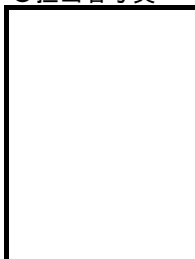
● 二次交通情報

交通利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

一般社団法人マルゴト陸前高田
担当：古谷、齊藤

TEL : 0192-22-7410
FAX : 0192-22-7420
MAIL : info@mrgt.or.jp



No.

■ 体験メニューの種類

体験・見学

■ 商品素材名称

広田湾 遊漁船体験

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

牡蠣の養殖いかだ見学

【概要】

漁業講座を交え、実際に牡蠣漁師さんが使っている船に乗って、牡蠣の養殖いかだを見学に行きます。船の上では漁師さんからのお話もあります。
漁業講座では広田湾の養殖についてのお話や、海産物についてのお話を聞くことができます。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	※1	料金	ひとりあたり3,850円(税込)
種別	見学	所要時間	60～120分（見学行程による）
受入人数	最大40名様程度まで ※2	営業時間	9:00～18:00 ※2
営業時期	通年	解散場所	現地
集合場所	※1	現地ガイド	あり
駐車場状況	大型バス駐車可能な駐車場あり	業者コミッション	なし
予約申込期限	2週間前程度		
問合せ先	TEL : 0192-22-7410 FAX : 0192-22-7420 MAIL : info@mrgt.or.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

《記載例》

※1 人数に応じて場所の調整あり

※2 40名様以上の団体の場合、ほかコンテンツと組み合わせてのローテーションで体験が可能です。（最大120名様程度まで対応可）

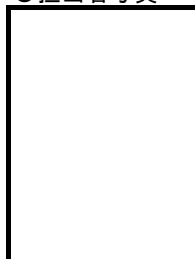
● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

一般社団法人マルゴト陸前高田
担当：古谷、齊藤

TEL : 0192-22-7410
FAX : 0192-22-7420
MAIL : info@mrgt.or.jp



No.

■ 体験メニューの種類

体験・見学

■ 商品素材名称

気仙文化にふれる体験

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

気仙大工の建築技法や、気仙文化にふれる

【概要】

気仙地方の一部を構成している、陸前高田市は『四大名工』と言われる「気仙大工」発祥の地です。気仙弁で語られるお話とともに、地元の木材である気仙杉を使った150年前程の明治初期の「庄屋」の建物を再現した古民家のなかで、気仙地方の文化についてふれることができます。

【気仙杉絵付け木工体験、お抹茶立て体験、椿ゆべしづくりなどが可能です】

また敷地内には、敷地内には、東日本大震災で被災した人たちに少しでも希望を持ってもらいたいという思いから、国内外からの寄付をもとに、多くの人たちが協力して建立することができました。この場所に灯る火は、1995年に発生した阪神淡路大震災で被災した人々を励まそうと全国47都道府県から種火が集められ、2000年に神戸市の遊園地に「1.17 希望の灯り」として点灯されたものより分灯された大切な灯りが灯されています。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒029-2207 岩手県陸前高田市小友町茗荷1-2-37		
種別	見学・体験	料金	ひとりあたり880円～(税込)
受入人数	最大40名様程度まで	所要時間	60～90分（見学行程による）
営業時期	通年（冬季応相談）	営業時間	9:00～16:00
集合場所	※1	解散場所	現地
駐車場状況	大型バス駐車可能な駐車場あり	現地ガイド	あり
予約申込期限	2週間前程度	業者コミッション	なし
問合せ先	TEL：0192-22-7410 FAX：0192-22-7420 MAIL：info@mrgt.or.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

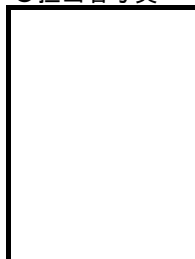
● 二次交通情報

交 利 通 機 関 能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付 近 情 報	

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

一般社団法人マルゴト陸前高田
担当：古谷、齊藤

TEL：0192-22-7410
FAX：0192-22-7420
MAIL：info@mrgt.or.jp



No.

■ 体験メニューの種類

講話

■ 商品素材名称

防災クロスロードゲーム

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

地域防災についての学習

【概要】

地域の絆から生まれた『仮設集落』から防災を学ぶ、陸前高田市の地区で実際に起こった震災当時の地区内での連携や奮闘に関する、自治会視点のお話を聞くことができる、防災講話です。

手元には「YES」「NO」のカードが配られ、実際に講話者が経験したことをもとに質問が出され、参加者は『自分だったらどうするか』『なぜそう思ったのか』意見を発表します。出される質問に正解はなく、この講話のなかで大切なのは『自分がその時にどうするかを考える』こと、災害を自分ごととして考えると同時にまわりのさまざまな考えを知り、考えを深めていく場としています。

そのほかご希望に応じた講話の調整が可能です。ご相談ください。

【注意事項】

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	※ 1	料金	一式55,000円(税込)※ 3
種別	講話・見学	所要時間	60～90分（見学行程による）
受入人数	最大40名様程度まで ※ 2	営業時間	9:00～18:00 ※ 2
営業時期	通年	解散場所	現地
集合場所	※ 1	現地ガイド	あり
駐車場状況	大型バス駐車可能な駐車場あり	業者コミッション	なし
予約申込期限	2週間前程度		
問合せ先	TEL : 0192-22-7410 FAX : 0192-22-7420 MAIL : info@mrgt.or.jp		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

《記載例》

※ 1 人数に応じて場所の調整あり

※ 2 40名様以上の団体の場合、別会場にて実施いたします。

※ 3 会場費・講師謝礼を含む（奇跡の一本松ホールをご利用の際は別途費用が発生いたします）

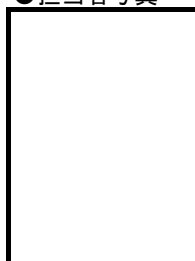
● 二次交通情報

交 利 通 機 関 能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付 近 情 報	

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

一般社団法人マルゴト陸前高田

担当：古谷、齊藤

TEL : 0192-22-7410

FAX : 0192-22-7420

MAIL : info@mrgt.or.jp



見学のモデルケース

東日本大震災津波伝承館

(令和4年7月改訂)

目次

- 3 … 見学の基本的な考え方
- 4 … 見学時間の目安
- 5 … 各種ノートの配布（中高生用）
- 6 … 各種ノートの配布（小学生用）
- 7 … 基本的な見学の仕方
- 8 … 時間ごとの見学の仕方
- 9 … モデルケース①（～20人程度まで）
- 10 … モデルケース②（～40人程度まで）
- 11 … モデルケース③（～80人程度まで）
- 12 … モデルケース④（～160人程度まで）

見学の基本的な考え方

見学の方法	説 明
自由見学	当館を自由にご覧いただきます。
解説員による展示解説 (当館推奨)	解説員をお付けして展示の解説をいたします。 ○ 事前の予約が必要(2週間前まで) ○ 見学時間は60分以上を推奨

※ 解説員は、概ね20名程度までに1人を配置します。同じ時間に配置できる解説員は2人が限度のため、通常は40人程度が上限となります。

※ 2クラス以上の見学への対応(モデルケース)については後述します。

見学時間の目安

見学時間	内 訳	備 考
30分未満	自由見学	見学時間を確保できない場合など
60分	10分: ガイダンスシアター 40分: 解説員による解説 10分: 自由見学	基本的なコース

※ 上記見学時間は「伝承館」のみの時間です。
(公園散策や道の駅での買い物などは、別途考慮が必要です。)

※ 事前学習や移動中のバスの中で予習するため、リーフレットや震災津波
伝承ノート(中学・高校)、**震災津波学習ノート(小学校用)**を学
校あてに前もって送付することも可能ですので、ご相談ください。

各種ノートの配布（中高生用）

学ぶ。伝える。

震災津波伝承ノート

◆内容

- ①各ゾーンの見学のポイント ②「考えてみよう」
- ③見学を終えて（振り返り）

◆対象

中学生、高校生

◆作成した意図

- ①東日本大震災津波の事実と教訓を学ぶ。
- ②この震災を自分事と捉え、自分の地域で起こるかもしれない自然災害について考え、備える。

学ぶ。伝える。

震災津波 伝承ノート

見学日

年 月 日

各種ノートの配布（小学生用）

震災津波学習ノート

◆内容

①問題形式の学習ノート

＊展示を見て解くもの、自分の考えをまとめる問い

②見学を終えて（振り返り）

③自分の家からの避難経路を考える

◆対象

小学生

◆作成した意図

①伝承館の展示で利用する写真や資料を入れることで見学中や事前事後学習にて内容の理解がより深まる。

②問題形式の内容とした。伝承館として伝えたい内容が児童へ定着しやすい。

震災津波 学習ノート

学校名

年

組

名前



基本的な見学の仕方

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	① 入館	② ガイダンス シアター視聴	③ 解説員による展示解説 ゾーン1～3								④ 自由見学	

① 入館

- 入館前に、避難経路の確認や見学時の注意事項の説明を行います。
- 入館時に、手指消毒及び検温を行います。

② ガイダンスシアター視聴

- 10分間の映像の視聴。

③ 解説員による展示解説

- ゾーン1～3の展示を解説員が説明します。途中で3.11シアターを視聴します。

④ 伝承館内の自由見学

- 解説後、生徒児童のみなさんが興味関心を持った場所や解説中には案内できなかった場所などを自由に見学します。
- 自由時間の有無や時間は調整可能です。

時間ごとの見学の方法

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
60分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3								自由見学	

60分時間が確保できない時には、45分、30分のプログラムもあります

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45
45分	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3						

自由見学が
なくなります

分	5	10	15	20	25	30
30分	入館	ガイダンスシアター視聴 解説員による展示解説 ゾーン1～3				

- ・自由見学がなくなります
- ・ガイダンスシアターのための視聴

見学のモデルケース①

～20人程度まで（少人数学級想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
Ⅰ組 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーン1～3								自由見学	

見学のモデルケース②

～40人程度まで（1クラス想定）

分	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
Ⅰ組 Ⅰ班 (20人)	入館	ガイダンス シアター視聴	解説員による展示解説 ゾーンⅠ → ゾーン2 → ゾーン3(※)								自由見学	
Ⅰ組 2班 (20人)			解説員による展示解説 ゾーン3 → ゾーンⅠ → ゾーン2(※)									

※ ガイダンスシアター視聴後、2つの班に分かれてそれぞれに解説員がつきます。2つの班が重ならないように館内をご案内します。その日の予約状況によっては、1人の解説員で1クラス全員を案内する場合があります。

見学のモデルケース③

～80人程度まで（2クラス想定）

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 1班 (20人)	シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3				自由 見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
1組 2班 (20人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2										
2組 1班 (20人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等						シアター 入館 視聴	解説員による展示解説 ゾーン1 → 2 → 3		自由 見学		
2組 2班 (20人)								解説員による展示解説 ゾーン3 → 1 → 2				

※ 一方のクラスが伝承館を見学中は、もう一方のクラスが別メニュー対応となり、60分で入れ替え。滞在時間はトータルで120分となります。

※ 各班に1人解説員が付きます。その日の予約状況によっては、各組1人の解説員の配置になる場合もあります。

見学のモデルケース④

～160人程度まで(4クラス想定)

分	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120
1組 (40人)	入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3				自由見学	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等					
2組 (40人)		解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2										
3組 (40人)	【別メニュー】(※) ○ 公園散策(防潮堤や奇跡の一本松見学) ○ 道の駅高田松原見学 ○ パークガイド、語り部ガイドの利用 等						入館	解説員による展示解説 シアター → ゾーン1 → 2 → 3				自由見学
4組 (40人)								解説員による展示解説 ゾーン3 → シアター → 1 → 2				

※ 1クラスに解説員を1人ずつ配置し、クラス単位で見学をお願いします。

タイムスケジュールのご案内

ワタミオーガニックランドは“命と循環”をテーマとした農業テーマパークです。

東日本大震災津波被災地区 23haを20年かけて少しずつ整備をしていく場所です。

ワタミオーガニックランド設立の想いやコンセプトなどを体験を通じて学べます。

バス	12:15～13:00	13:00～13:50	13:50～14:40	14:40～14:55	14:55～15:45	15:45～16:45
1	昼食	①	②	③	④	南三陸へ移動
2	昼食	①	②	③	④	南三陸へ移動
3	昼食	②	④	③	②	南三陸へ移動
4	昼食	②	④	③	②	南三陸へ移動
5	昼食	④	①	③	①	南三陸へ移動
6	昼食	④	①	③	①	南三陸へ移動

コース名	価格(税込み)	内容
①オーガニックランド場内案内	1,500	別途添付の資料を使って オーガニックランドの設立の経緯やオーガニックランドのコンセプトや場内の施設の想いを説明
②ブドウの根域制限栽培とソーラーシェアリング	1,500	津波被災地だからこそこのポットでの根域制限栽培での生食+醸造用ブドウ栽培の経緯、農業とクリーンエネルギー活用の有用性について ブドウの味見(まだ酸っぱい)
③休憩 グラスフェッドミルク混ぜ混ぜシェイク	400	北海道の自社農場で育てたグラスフェッドミルクを使ったシェイク(命と循環のテーマ)一息とリフレッシュ 食について考えるきっかけに
④植樹体験(雨天時は種アート)	1,500	津波被災地区に緑をみんなでつくるプロジェクト。事前に各クラスごとに名札と看板を作っておいていただき、2人に1本植樹を行い、看板を作成、樹の成長とみなさんの成長、未来に思いを馳せるプロジェクトです。樹の名は言葉や特性を理解することで、多様性理解につなげる
*事前学習 オンライン	500	現地の内容の理解が進むような内容(震災前後の動画や写真等、ワタミのご案内 陸前高田市の事前情報などご要望に沿えるような形をご相談させていただきます。)
*ドローン記念撮影動画プラン(1団体様料金)	*15000	*強風、雨天時は中止 写真と動画 2種類 データにて納品

お食事メニュー

地元気仙杉を使った「木づかい」ハウスで最大300名様まで一度にお食事いただけます。

お食事	時間	人数	内容	価格(税込)
季節の農園弁当	40～60分	20～300人	地元今泉地区のお米を使った季節のお弁当 期間限定 23年11月30日まで 東北6県 小学生様 1,000円にてご案内	1,300円
ハンバーガー作り体験	50～70分	20～300人	ハンバーガーキットを使った手作り体験	1,800円
B B Q	50～70分	20～300人	県内産お肉と、オーガニックランド産の野菜を使用	1,800～3,800円

～太陽の恵みからできているお食事～

お食事を通して、園の思いや商品に込めたストーリーを
命と循環をテーマにした内容でご説明させていただきます。
また、生徒様には食事後の片づけ、分別等ご協力いただき
循環の一部としてサポートいただければ幸いです。

*キーワード：クリーンエネルギー、3 R、分別、フードロス、発酵



体験プログラム一覧

体験	時間	人数	備考	価格(税込)
場内案内散策	30～120分	20～300人	60分以上で摘み取り野菜試食付き『基本 60分 1,500円』 60名様以上は要ローテーション	1,000～3,000円
植樹体験	40～60分	20～300人	事前に看板に名前ほり 60名様以上は要ローテーション	1,500円
種アート	40～60分	20～300人	タネを使った絵葉書の作成	1,000円
ドローン記念撮影	15～20分	20人～	ドローンを使った写真、動画撮影	15,000円
5つの種 ツアー	120～300分	5～30人	陸前高田の過去から未来を陸前高田市内を周遊しご案内いたします。	6,000円
* 60名様以上は食事や、その他の体験と組み合わせて実施御願いたします。				

■場内案内散策

SDGsや自然相互の関わり合いについて園内を説明しながらご案内いたします。

* キーワード：SDGs、農業、土、ソーラーシェア、エネルギー、木材利用

■植樹体験

津浪の被害を受けた大地に「木」を植え、森づくりについて学びます。

1グループ1本植樹し、名前を記載した看板を植樹した場所に設置していただきます。

■種アート

元々は廃棄される予定だった種を利用し、絵葉書を手作りしていただきます。

■ドローン記念撮影

上空から記念撮影を行います。（雨天、強風時中止）

■5つの種 ツアー

- ・ 陸前高田市内を見渡せる高台と米沢商会様案内 90分
- 東日本団震災伝承館 60分 こちらはガイド付きません
- 高田松原コース 90分
- オーガニックランドコース 120分
- 合計 300分 6時間の1日滞在コース
- 1日を通じて、陸前高田の過去～未来の軌跡を5つの種と共に体験します。



場内案内散策詳細

ワタミオーガニックランド内を1時間かけてSDG s などオーガニックランドの取り組む内容をお話しながらめぐります。

お客様の関連する内容に合わせて事前に打ち合わせさせていただき、複数の中からお選びいただけます。

散策ツアーの内容

メイン

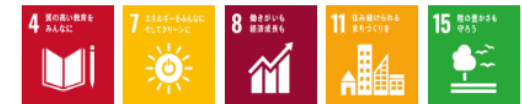
- ・オーガニックランドの設立経緯
震災・防災学習など含む
- ・陸前高田市の都市計画と
オーガニックランドのかかわり
- ・ブドウ園場とソーラーシェアリング
いただきますと土壌について
- ・木を使った循環について
- ・ありがとうについて

その他

- ・クリーンエネルギーについて
- ・農業土木、JAS有機について
- ・森林管理について

場内散策ツアーガイド

※新鮮野菜のつみとり体験付き



ご利用者様の感想

■場内案内散策（野菜の試食体験）

実際に現地に来て場内案内を聞いている中で、震災の害の大きさや、復興の進み具合を体感できた。
（中学校の修学旅行生 東京都）

土や森、海等普段当たり前にあるものを改めて考えるようになった。
【ありがとう】や【いただきます】の意味を考えて毎日を過ごそうと思った。
（中学校の修学旅行生 岩手県）

野菜の種類や種の違い、味の違いを感じられることができた。
パプリカの種類によってこんなに味が違うのは初めて知った。
普段は気にしていないが野菜の種類や種についても調べてみようと思った。
（高校の修学旅行生 岩手県）

資料を基にクイズを交えて現地で説明を聞く為、震災や復興だけでなく、農業、環境、エネルギー等
わかりやすい説明であった。その後の食事にも内容をつながっていてよかった。
（旅行会社の方 岩手県）

震災復興からと農業の再生、土づくりについても、様々なところと連携して取組を進めている状況がわかりやすく
説明してもらい、研修の1コマとして充分であった。
（野菜生産部会 青森県）

植樹体験詳細

ワタミオーガニックランド内のみんなの森エリアに植樹を行うプログラムです。
東日本大震災の津波被災地区に植樹として新たな【命】を育みます。
樹の成長と自身の成長を重ね、未来を考えるプログラムです。

・事前準備

各団体様へ看板と植樹参加者様へ1人に
1枚ずつ名札をお送りいたします。
名札へ各自お名前をウッドバーニングで
印字いただき、看板に
貼り付けていただきます。

● 植樹体験プログラム（季節限定）



・当日

2人一組でそれぞれ50cm～1m程度の樹を一本植えていただきます。
樹が育つ肥料を地元の材料を使って混ぜ、植穴を掘って
樹を植えます。
それぞれ植える樹種については、カードを引いてランダムに決めます。
30種類程度の樹木の中から選んでいただき、それぞれの樹の特徴や
花言葉を記載しており、それぞれの樹の特性や種類の違いをもとに
植樹を行い、記念撮影をします。

・雨天の場合

当日は種アートに変更いたします。後日オーガニックランドスタッフが植樹し
看板とともに写真をお送りします。

ご利用者様の感想

■植樹体験

植えた木と同じように、成長している未来の姿を想像し、また陸前高田にまた行きたいと思った。
(中学高の修学旅行生 東京都)

木を植える意味や木の役割について考えるきっかけになった。
根を張るのに、1年以上もかかるのは初めて知った。
(高校の修学旅行生 岩手県)

事前に札に名前を書くことで、植樹に対する意識づけができました。
(中学校の先生 千葉県)



種アートプログラム詳細

トキタ種苗様協力の元、廃棄される種を使ってワタミオーガニックランドのロゴなどに種を使いアート体験ができるプログラムです。

● 種アートプログラム

- ・なかなか野菜が育っているところを見る機会がなかったり、野菜が育っているところは知っていてもいろいろな品種の種の違いを実際に触って体験します。
- ・当日
各テーブルに種セット、ボンド、はがきなどを用意しており、いろいろなはがきの中から好きな図柄を選んでいただきいろいろな色、いろいろな形の種を貼り付けていただきます。
台紙ははがきになっているので、切手を貼って郵送できます。
離れてお住まいの方への感謝の気持ちなどにお使いいただけるようになっています。



ご利用者様の感想



■種アート

こんなに種に種類があるとは知らなかった。葉書作りも最初は戸惑ったがやってみると楽しかった。
(中学高の修学旅行生 岩手県)

色のついた種を葉書に貼る作業は意外と熱中してしまった。
家族に見せて種を話をしあおうと思う。
(中学高の修学旅行生 岩手県)

廃棄されている種が多くあることを初めて知った。
生物の授業での内容を思いだし、学校での授業内容が社会で実用的な知識として活用されているのだと感じた。
(高校の修学旅行生 岩手県)

種メーカーがあり、品種改良に長い年月が費やされていることを初めて知った。
分業されている社会の中で食に関して、川上から川下までを考えるきっかけとしてよいプログラムだと思います。
(旅行会社の方 岩手県)

)

No.

■ 体験メニューの種類

震災学習・SDGs体験

■ 商品素材名称

陸前高田ワタミオーガニックランド

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

震災学習＋SDGs学習

【概要】

東日本大震災津波伝承館から車で5分程度の場所です。
東日本大震災津波からの復興を【命と循環】、SDGsを
テーマに自然の恵みを体験できる施設となっています。

* 伝承館内の芝生でのお弁当配送（ゴミの回収含む）も浮
か田まわっております。雨天の際にはオーガニックランド内
施設でお食事していただけます。

【注意事項】

体験学習などは予約が必要になります。10日前までにご予
約下さい。

所在地	〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町土手影309		
種別	体験学習・見学・食事	料金	食事：1300円～ 体験：1000円～
受入人数	300人	所要時間	60分～ ご利用内容で異なります。
営業時期	通年（年末年始除く）	営業時間	9：00～17：00
集合場所	ワタミオーガニックランド	解散場所	ワタミオーガニックランド
駐車場状況	大型6台、自家用30台	現地ガイド	ワタミオーガニックランドスタッフ
予約申込期限	10日前までに	業者コミッション	契約状況による
問合せ先	TEL：0192-53-2610 メール：info-rt-organic@watami.net		

備考 (※) 一般団体料 金等について記載 のこと。	<p>*1 料金は入場無料。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事 お弁当 1300円 BBQ、ハンバーガー作り体験 1800円～ ・ 体験学習の所要時間は60分～ 場内案内散策ツアーガイド 60分@1500円 植樹体験 60分@1500円 種アート体験 60分@1000円
-------------------------------------	--

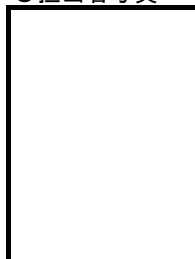
● 二次交通情報

交通利用可能	三陸自動車道「陸前高田長部IC」から約5分
	三陸自動車道「陸前高田IC」から約7分

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	

● 担当者写真



● 担当者連絡先

地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになる

watami
陸前高田 陸前高田
オーガニックランド

ワタミオーガニックランド株式会社
経営企画担当
部谷 文一
Fumikazu HIDANI
ワタミオーガニックランド株式会社
〒029-2203 岩手県陸前高田市竹駒町相川 158-5
TEL 0192-53-2610
f_hidani@watami.net
mobile 090-6569-9199

SDGs
COMPANY
ECO-FIRST

お食事に関するご案内

ワタミオーガニックランドは
最大300名様まで
お食事ができます！

東日本エリア生産量No.1のささみを使った
オリジナルバーガー (写真:原寸サイズ)

広大な敷地を持つワタミオーガニックランド
なら修学旅行生などの団体様向けのお食事
プランもご用意しています！
お気軽にご相談ください。



「津波伝承館」までお食事をお届けすることもできます！

ワタミオーガニックランド以外でのお食事
にも対応！
旅行会社様で予め組まれている団体ツアー
で、大量のお食事を要する場合にも現地
まで配送可能です。
乗務員向けのお食事もご用意できますので
お問い合わせください。



ご来園の皆様に安心してご利用いただくために



屋内換気

屋内施設では十分な
換気を行っています



ソーシャルディスタンス

身体的距離の確保に
努めています



手洗い・消毒

スタッフ・園内施設各所・備品の
消毒をこまめに行っています



マスク着用

スタッフのマスク着用を
徹底しています



健康管理

スタッフの健康管理を
徹底しています

ワタミオーガニックランドはSDGsを体験しながら 楽しく学べるテーマパークです



散策順路ガイド

- 散策順路①
おらほハウス
- 散策順路②
休憩棟 & 木づかいハウス

- 散策順路③
ぶどう園
- 散策順路④
露地栽培園
- 散策順路⑤
みんなの森

園内施設ガイド

- ☕ カフェ
- 🍴 食事・休憩 (おらほハウス)
- 🌿 休憩棟
- 🚻 トイレ
- 🚌 バス停 (グリーンスローモビリティ)
- 🅑 駐車場

子供も大人も！園内のアクティビティや食事など体験を通してSDGsが楽しみながら学べます！！

場内案内



BBQ・手作りバーガー体験



植樹体験



種アート体験



陸前高田 watami
オーガニックランド

修学旅行・団体様向けプログラムのお問い合わせ先

TEL 0192-53-2107 (受付時間10:00-17:00)

E-mail info-rt-organic@watami.net

「東日本大震災津波伝承館」から車で5分
〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影309



日本最大級の 体験型農業テーマパーク



気仙杉の香り感じる「木づかいハウス」で
お食事をお楽しみください。



気仙杉を使うことは地域の循環を生むため、山は健康に、またCO2吸収能力も高めます。



東日本大震災津波
伝承館から車で **約3分!**



大型バス
駐車場 **最大8台!**



受入
人数 **最大300人!**



化粧室
多目的トイレ **完備!**



陸前高田 watami
オーガニックランド

〒029-2204 岩手県陸前高田市気仙町字土手影309
info-rt-organic@watami.net

お問い合わせは
お気軽にこちらまで!

0192-53-2107



LINE 友だち登録
募集中!



ワタミオーガニックランド
オフィシャルページ



.....ご来園のお客様に安心してご利用いただくために.....



屋内換気

屋内施設では十分な
換気を行っています



ソーシャルディスタンス

身体的距離の確保に
努めています



手洗い・消毒

スタッフ・園内施設各所・備品の
消毒をこまめに行っています



マスク着用

スタッフのマスク着用を
徹底しています



健康管理

スタッフの健康管理を
徹底しています

地元のおいしいを
集めました

岩手県肉お弁当

県内を代表する岩手めんこい黒牛・ありすポーク・南部どりが一度に楽しめる!

贅沢三昧弁当

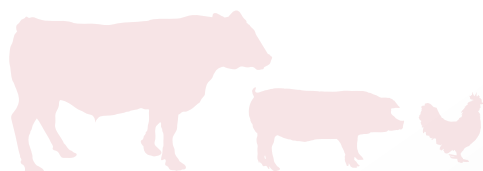
1,600円

キロサ牧場「岩手めんこい黒牛」のカルビ、住田町有住(ありす)の山奥で静かな自然の中で育った「ありすポーク」のそぼろ、東日本生産量No.1※鶏「南部どり」を豪華に盛り付けました。

※出典:農林水産省「令和元年生産農業所得統計」



絶品



岩手めんこい黒牛だけを堪能!

焼肉重弁当

1,900円

上質な赤身と脂身のうまみがあふれる「岩手めんこい黒牛」をオリジナルのタレで丁寧に焼き上げた一品です。



やわらかジューシー南部どり!

とり味噌漬け弁当

1,300円

地元の酔仙酒蔵の酒粕を使用し、南部どりのうまみを引き出したワタミオーガニックランド特製のとり味噌漬けを盛り付けました。

地元食材や園内で収穫した野菜を使用しています。



陸前高田 watami
オーガニックランド

岩手県立野外活動センター

ひろたハマラインパーク
Hirota Hamaline Park



各種野外活動や集団宿泊研修、スポーツ合宿のほか、日帰りでの野外活動・創作活動・体育施設の利用など、さまざまな活動でご利用いただくことができます。



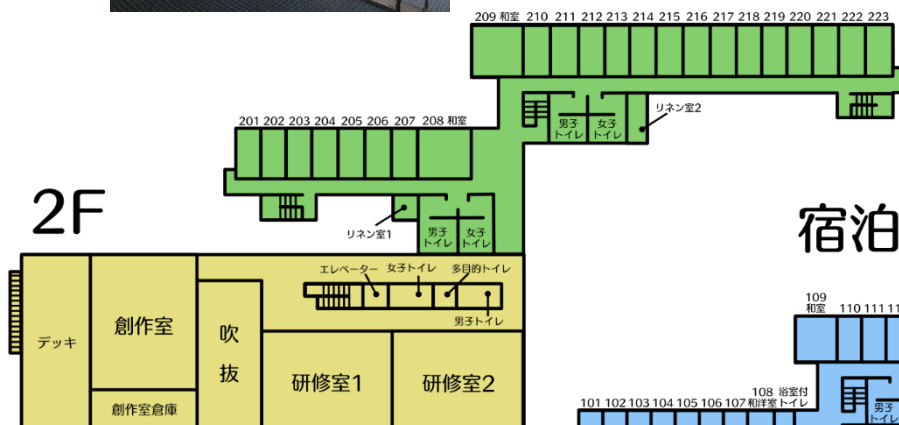
詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://www.echna.ne.jp/~rikuzenyagai/>

ホームページ QR コード





砂入り人工芝 8面
硬式、軟式に対応
夜間照明付き

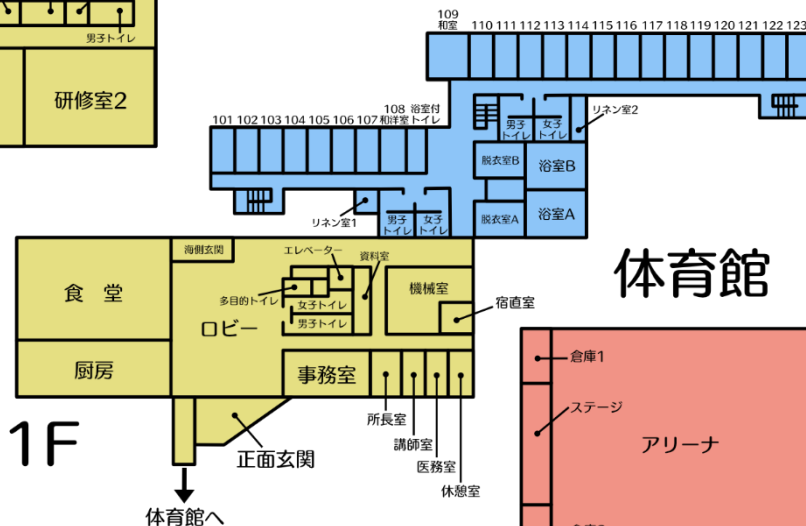


宿泊棟

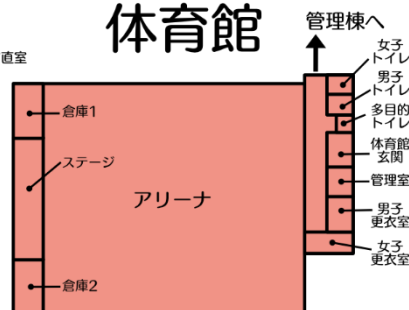
	定員	室数
宿泊室	4 名	42 室
和室	10 名	3 室
和洋室	2 名	1 室

管理棟

食堂	200 席
研修室 1・2	各 100 名
創作室	120 名
バス定員	44 名



體育館



Mail : hamaline@sposhin.echna.ne.jp

令和5年度イベント情報



岩手県立野外活動センター

〒029-2208

岩手県陸前高田市広田町
字大久保 124-1

TEL 0192-22-9800

(受付 9:00~17:00、月曜休所)

FAX 0192-22-9810

hamaline@sposhin.echna.ne.jp

http://www.echna.ne.jp/~rikuzenyagai

合同事前研修会

① 5月10日(水) ② 11日(木)
③ 7月11日(火)

対象 ▶ 野外活動実施団体の指導者
学校団体の指導者

内容 ▶ 活動プログラムの体験・研修、
活動内容の調整など。

ドラマチック海遊塾

8月3日(木)~6日(日)

対象 ▶ 小学5・6年生、中学生

内容 ▶ 野外炊事、焼き板工作、
いかだ体験、SUP体験、
磯遊び、防災学習など。

SUP体験会

① 6月10日(土)
② 7月17日(月)

対象 ▶ ① 小学生以上一般
② 小学4年生以上一般

内容 ▶ ① は屋内プール、
② は海での SUP 体験。

親子海釣り教室

① 10月7日(土)
② 10月14日(土)~15日(日)

対象 ▶ 小学生とその保護者
内容 ▶ 初心者向け釣り講習会
の後、釣り体験をする。

① は防波堤釣り体験。
② は防波堤釣りと
船釣り体験。

野活キッズ・夏

7月22日(土)~23日(日)

対象 ▶ 小学3年生~6年生

内容 ▶ テント泊、野外炊事、
キャンプファイヤー、
SUP 体験など。

ファミリーキャンプin広田

8月19日(土)~20日(日)

対象 ▶ 小学生とその家族(4歳以上)

内容 ▶ テント泊、野外炊事、
キャンプファイヤー、
磯遊びなど。

はまピー体操教室

① 令和6年2月2日(金)
② 令和6年2月3日(土)

対象 ▶ ① 65歳以上の方

② 小学1~3年生とその保護者

内容 ▶ ① ストレッチや体操をして
楽しく交流。

② 親子で、ご家庭でも楽しめる
いろいろな運動を体験。

ボランティア スタッフ養成講座

7月22日(土)~23日(日)

対象 ▶ 高校生・大学生・専門学生

内容 ▶ 児童生徒との接し方や安全
管理などについて学ぶ。修了
生は当センターのボランテ
ィアスタッフとして登録。

震災・防災学習現地研修会

7月27日(木)、28日(金)

※両日とも同一内容

対象 ▶ 小・中・高・専の教員等

内容 ▶ 東日本大震災津波伝承館、
野外活動センターとその
近隣施設等による震災・防
災学習プログラムを紹介。

親子防災教室

9月9日(土)~10日(日)

対象 ▶ 小学生とその家族(4歳以上)

内容 ▶ 広田防災ウォッチング、
避難所体験、炊き出し体験、
防災ゲームなど。

野活キッズ・冬

令和6年1月27日(土)
~28日(日)

対象 ▶ 小学3年生~6年生

内容 ▶ 県南青少年の家に宿泊、
スキー体験。

野活クラフト教室

① 12月2日(土) ② 9日(土)
③ 令和6年2月17日(土)

対象 ▶ ① ② 小学3年生以上と
その保護者

③ 一般(親子含む)

内容 ▶ ① クリスマスリース作り
② ミニ門松作り
③ 貝びな飾り作り

※イベント内容は変わることがあります。

詳しくは野外活動センターホームページ

または各種 SNS をチェック!



ひろたハマラインパーク



岩手県立野外活動センター 料金表(令和5年4月1日現在)

※ 料金は変更になる場合があります。

＜食事料金＞

区 分	朝 食	昼 食	夕 食
小学生以下	420 円	530 円	680 円
中学生以上	430 円	550 円	700 円

＜シーツ等洗濯代＞

シーツ・枕カバー(1式)	200 円
シュラフシーツ(1式)	200 円

※汚損の場合は別途料金がかかります。

※野外炊事等については「野外炊事・弁当等メニュー」をご覧ください。

＜宿泊室使用料★＞

単 位	小・中学生	高校生・学生・勤労青少年	一 般
1人1泊	360 円	520 円	700 円

※「勤労青少年」とは、25歳未満で学生以外の方です。

＜キャンプ場使用料★＞

単 位	小・中学生	高校生・学生・勤労青少年	一 般
テント1泊1張(持ち込み含む)	190 円	280 円	370 円

※キャンプ場シャワー室の使用料金は、1人1回あたり100円です。

※炊事用具使用料金は1式(10人分)1炊事あたり110円です。(11人の場合は2式となります。)

＜薪代等＞

種 別	小サイズ	中サイズ	大サイズ
キャンプファイヤー用薪	1,500 円	2,400 円	3,000 円
炊 事 用 薪 (1束)	400 円		
石 灰 (1 袋)	1,100 円		

＜体育施設使用料金★＞→すべて1時間あたりの料金です。(使用人数は問いません。)

施 設 名	小・中学生		高校生・学生・勤労青少年		一 般	
	半面	全面	半面	全面	半面	全面
運 動 広 場	330 円	630 円	480 円	950 円	640 円	1,270 円
体 育 館	380 円	740 円	550 円	1,120 円	740 円	1,480 円
テニスコート(1面)	340 円		500 円		660 円	

※体育館をアマチュアスポーツ以外で使用する場合や入場料を徴収する場合は別料金になります。

＜付属設備等使用料金★＞→すべて1時間あたりの料金です。

スポーツ用具	軟式野球、ソフトボール(ベース、杭含む)				250 円	
	陸上競技(ハードル、高跳び用具、バトン)				140 円	
	バスケットボール(ゴール含む)				130 円	
	卓球(卓球台、ネットセット)				60 円	
	ラグビー、サッカー、ハンドボール、フットサル(各ゴール含む)、テニス				40 円	
	バレーボール、バドミントン(各ネット・支柱含む)、グラウンドゴルフ				30 円	
放 送 設 備	備え付け設備(プロジェクター含む)				250 円	
電 気 料	体育館				テニスコート(1面ごと)	
	7～9月		10～6月		7～9月	10～6月
	全面	半面	全面	半面		
	110 円	60 円	110 円	50 円	110 円	110 円

＜創作活動料金＞

フォトフレーム	200 円	竹とんぼ(2個)	150 円
ジェルキャンドル	500 円	ぐにゃ風	250 円
焼き板工作 ※別途薪代必要	300 円	七宝焼き	700 円
火おこし体験(1セット6人まで)	300 円	缶バッジ	50 円

【施設使用料金の減免】…下記の場合、★料金(キャンプ場シャワー、電気代除く)の減免が可能です。事前にご相談ください。

○教育課程に基づく学習活動として学校が主催する事業 ○身障者手帳、療育手帳、子育て応援パスポートをお持ちの方

○県又は県教委が主催する野外活動及びスポーツの推進事業 等

【料金支払先・時間等】※現金払いです。お釣りのないようにご準備ください。

○食 事 料 金…食 堂 (支払い対応時間 8:30～9:30、13:30～14:30、19:00～20:00)

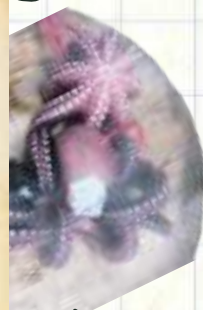
○食事料金以外…事務室 (支払い対応時間 8:45～17:00)



千年に一度の震災は
千年に一度の学びの場へ

陸前高田 民泊修学旅行

a school trip to Rikuzentakata



震災の記憶を、未来への希望へ…

人生を、

一日一日を、

もっと大切に

生きようと思いました。

*民泊を経験した生徒さんからの感想

岩手県陸前高田市。

忘れもしない、2011 年 3 月 11 日。

この日、この町ではたくさんの尊い命、かけがえのない
日常が失われました。

千年に一度といわれる東日本大震災により、
陸前高田市は人命、歴史、文化といった多くのものを失いました。
取り戻せないものもありますが、
陸前高田市では、新しい陸前高田市に向けて、
0 からのまちづくりが行われています。

そこには、命ある限り、前向きに生きている人たちがいます。

自然と共に生きている人たちや、
絶望を知っているからこそ、当たり前の日常を大切に生きる人たち。
そんな人たちの生き様から、私たちは「生きる力」を感じるでしょう。

陸前高田だからこそ、
出会った受入家庭と生徒だからこそその「学び」が必ずあります。

一人ひとりが主人公の陸前高田民泊を体験してみませんか？

陸前高田民泊の過ごし方 ～各家庭のありのままの暮らし～

民泊ではホテルや旅館、民宿への宿泊とは異なり、一般家庭に数日間泊まらせていただきます。お客さんではなく「家族の一員」として、受入家庭の「ありのまま」の暮らし体験を通して生まれる気づきや学びを大切にしています。

Activity 1 はまって会(入村式)



出会い

受入家庭とのドキドキの初対面の場。中には不安な気持ちの生徒さんかもしれませんが、受入家庭の笑顔と歓迎の言葉に、心も表情も少しずつほぐれていきます。ワクワクと安心感が生まれる大切な時間です。民泊のはじまりです！
*生徒による司会進行も良い経験に。



最初はお互いドキドキ

Activity 2 食事



夕食づくり

最初は緊張していても、一緒にご飯をつくり、食卓を囲み、色々なお話をする中で少しずつ笑顔が増えていきます。

手作りのお漬物の味が忘れられない！



朝食

早起きをして、家の目の前の海へお散歩！地平線から昇ってくる朝日に感動！！

Activity 3 暮らし体験

*体験作業は受入家庭によって異なります。ご了承ください。



各家庭事の暮らし

陸前高田民泊のコンセプトは「オリジナル民泊」！家庭ごとの「ありのままの暮らし」を一緒に過ごすことで、生徒一人ひとりに学びや気づきが生まれていきます。100 家庭あれば、100 通りの出会いがあります。

初めての畑作業



受入家庭の人が数か月も前から育てた野菜だと知り、食べ物への感謝の気持ちが生まれました。



地域散策

市街地へと歩きながら震災当時のお話を聞きます。

裏山へ探検へ！



船に乗って海へ！



料理

地元の郷土料理づくり。地域の歴史や、それぞれの地元についてお互いに会話をすることで、仲が深まる時間です。

畑からとってきた新鮮な野菜が食卓に！自然のありがたみを感じます。取れたての野菜は美味しくて、苦手な野菜も美味しく食べることができました。



手作りの流し素麺！

Activity 4 ほんでまんず会(離村式)



お別れ

短い滞在時間でも、生徒と受入家庭の間には確かな絆が生まれています。受入家庭も「みんなうちの子だよ、離れていてもずっと応援しているからね。」生徒も「帰りたくない、また絶対来るからね。」と涙を流す場面も。さようなら、ではなく、またね。

2泊5食コース



1泊3食コース

泊数、食数等はカスタマイズ可能です。別途ご相談ください。

1 日目	14:00	到着！震災学習*
	16:00	はまって会
	16:30	各受入家庭先へ移動
	17:30	夕食づくり & 家族団らんの時間
.....		
2 日目	07:00	朝食
	09:00	暮らし体験
	11:30	昼食
	13:00	ほんでまんず会

オーダーメイドで深める事前事後学習

事前事後学習は、修学旅行前後に行う学習プログラムです。

学校様のご希望をお伺いし、オーダーメイドの学習内容をご提案致します。

生徒様一人ひとりの修学旅行での学びをより良いものにするために、ぜひ取り入れてみませんか？

事前事後学習を導入することで解決できること



解決ポイント①

今まで無関心だった
「対岸の火事」に興味
関心が湧くようになる

解決ポイント②

被災地に行ったときに
何を見る・聞くべきか、
観点が分かるようになる

解決ポイント③

「被災地の人にこんな
こと聞いていいの？」と
いった不安が解消される

解決ポイント④

修学旅行で得た学びを
今後どう活かせばいいか
がつかめる

知らない・興味がない
被災地や民泊に対する
不安がある

被災・復興について
興味が湧いている

陸前高田に行く意味を
自分の中で見出している
修学旅行で見べき視点が
わかっている

修学旅行の経験を
自分事にする

プログラム例



① 講演会

映像や写真を交えて、様々なテーマでの講演が可能です。

- ①震災、津波で経験したこと
- ②陸前高田ってどんなところ？
- ③修学旅行で何が学べるの？

② ワークショップ

例) 防災クロスロードゲーム
「非常食を自分の家庭だけで食べるか、避難所にいる他の人にも配るか？」等、実際の経験談を元に問かけがされます。

③ グループセッション

陸前高田でボランティアをする大学生と一緒にクイズやゲーム形式で楽しく学習。民泊当日に活用できる「民泊のしおり」も作成します。

④ 避難所運営ゲーム HUG

避難所で起き得る状況の理解と適切な対応を学ぶシミュレーション型訓練。カードゲーム形式で、災害時に次々に起こるイベントに関して対応を瞬時に判断していきます。

⑤ 教材提供

ご要望にあわせてワークシートを作成したり、ビデオを貸出すことが可能です。
ワークシートの過去テーマ
・東日本大震災の被害について
・陸前高田市について
・防潮堤の是非を問う など

⑥ 修学旅行後の振り返り

ワークシートを用いて、学びを自分事に落としこむために振り返りを行います。また、修学旅行の経験を自身のキャリア選択につながるキッカケにするキャリアプログラムにすることも可能です。



学校からのご要望（難易度・日数・テーマ）に沿う形で、オーダーメイドのプログラムを作成致します。お気軽にご相談ください。

【テーマ例】

- ①陸前高田市のゼロからのまちづくり政策作成
- ②陸前高田の「暮らし＝一次産業」に焦点を当てた食費
- ③陸前高田でビジネスを起こすためのプラン作成

【概要】

回数 事前学習 1回から3回 / 事後学習 1回
時間 1回につき 50分
費用 1回につき 500円 / 人（税別）

【株式会社 & Nature】

TEL : 03-5829-6361 MAIL : info@andnature.jp HP : https://andnature.jp/

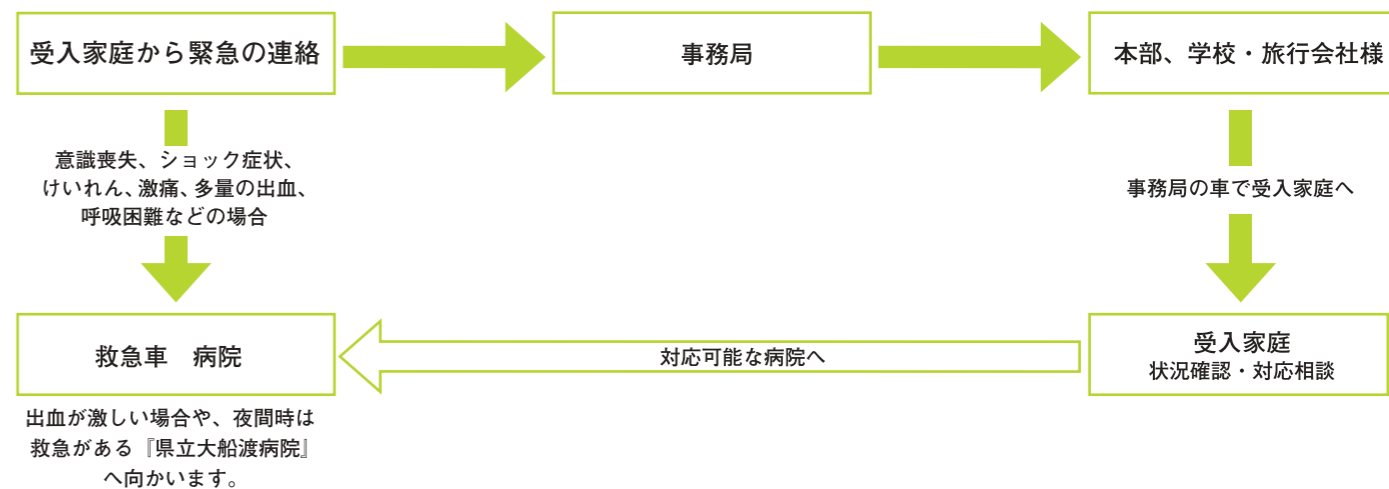


緊急時の連絡について

民泊中の体調不良など

緊急時連絡網

※事務局を通さず受入家庭に直接連絡・訪問するのはお控えください。



民泊中に万が一、災害が起きた場合

■地震・津波（注意報・津波警報）

・受入家庭は市の防災無線に従い行動する。
(なによりも迅速で確実な情報は市の防災無線です。)

※市内各所にスピーカーの設置有。

・避難する際、受入家庭は必ず生徒と一緒に避難する。

・警報や注意報が発令された場合、海辺での体験はすぐに中止して避難する。

・発令されている最中は海辺での体験は禁止。

・身の安全を確保し次第、受入家庭から事務局に安否連絡を入れる。

・電話が通じない場合は、各避難所へ安否報告・避難する。

■大雨・洪水・暴風など（注意報・気象警報）

・市の防災無線に従い行動する。
・避難が必要な場合、防災無線の指示・家庭の判断で避難をする。

※警報の有無に関わらず、状況によっては自宅待機をお願いする場合があります。その際の対応については事務局から電話にて案内します。

※事前に天候の悪化が予想される場合、旅行会社・学校様と話し合いのもと、時間を調整させて頂く場合もございます。

避難所の情報は陸前高田市役所で集約しています。
下記の流れで市役所から事務局に連絡が入ります。

市役所→事務局→学校様・旅行会社様→保護者様

※保護者様との連絡は学校様をお願いしています。

※混乱を避けるため、各受入家庭への直接の連絡はくれぐれもお控えください。

次の番号に電話をかけることで、市の防災無線の内容を確認できます。

【電話応答サービス（通話無料）】0120-273-256

緊急時の対応については、受入家庭の皆様にも同様の対応を安全講習会で必ず伝えています。



全国の生徒さん、受入家庭からの声

生徒感想

受入家庭
感想

初めて会った時から、受入家庭さんが優しく話しかけてくださって、すごく嬉しかったです。

気づけば不安な気持ちが、楽しくしょうがない気持ちへ変わっていました。



震災のお話を聞いて、中学生が地域のためにとても頑張っていたことが伝わってきました。もし自分が住む町で震災が起ってしまった時は、「私たちが一番に地域のために動かなければならない」と改めて思いました。

一番思い出に残っているのは初めて食事をした夜の事です。家族団楽でご飯を食べることに感動しました。

自分を本当の家族のように出迎えてくれて本当に嬉しかったです。



民泊を通して、価値観を疑うことを学びました。違う価値観や生き方、新しい世界お互いが触れることができて、とても良かったです。

By 民泊受入家庭 60代女性

何より、じいちゃんとたくさん遊んでしゃべることができたのがとても良かったです。「本当の家族が増えたみたい」とじいちゃんが言ってくれた時は、すごく嬉しかったよ。



東日本大震災から10年。大きな被害を受けた陸前高田市は、ハード、ソフトの両面で再起に向けた歩みを着実に進めています。自然災害によって大きく変化した地域を知り、防災の大切さを再認識していただければ幸いです。

海と山の幸に恵まれた三陸で、楽しい時間を共有できることをお待ちしております。

60代男性



陸前高田市に来てわかったことがたくさんありました。その中でも心に残ったのは、震災が起ってから「人のありがたみ」というものを知ったということです。これからは私は、なんとなく毎日を過ごしていくのではなく、お母さん、お父さんに感謝をしていこうと思います。

また、困っている人がいたら助けたりしたいと思います。



陸前高田での一期一会の出会いが、その場にいる一人ひとりの記憶に刻まれています。

民泊はやってみるととても楽しい。孫がないから、孫のようです。泊まった子供たちから手紙がくると嬉しく、民泊した子供たちが、その後どう成長していくのかもとても楽しみです。

70代女性



復興に向けての復旧作業に取り組んでいる方々の姿に、とても感動しました。そして、少しでも力になり「支える」ことが出来るようになりたいという気持ちが生まれました。



民泊のご利用に際して

- 受入家庭は、基本的に実施より約2か月前に決定します。
- 体験の内容は受入家庭により異なりますので、事務局にご一任ください。
- ご利用に際し先生方などの事前の下見受入れも随時行っております。詳細はお問い合わせください。
- 体験時間内の緊急連絡体制などについては別途お打ち合わせをお願いします。
- 体験時間以外の個人的な行為により生じた諸問題の責任は負いかねます。

特定非営利活動法人 SET

〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田 52-6

TEL/FAX 0192-47-5747

MAIL set.forjapan@gmail.com (代表)
minpaku@npa-set.org (民泊専用)

HP <https://set-hirota.com/>

民泊 HP <https://takataminpaku.npa-set.org>

「高田民泊」で検索ください！ 🔍



SET



民泊

No.

エリア区分

沿岸エリア

陸前高田市

■ 体験メニューの種類

生活体験学習

■ 商品素材名称

陸前高田民泊

■ 商品素材写真



■ 商品素材紹介

陸前高田市のリアルな生活体験・交流事業

【概要】

陸前高田民泊は、一般のご家庭に泊まりながら、町でのリアルな生活を体験したり、町の方と交流することができる事業です。お客さんではなく、“その家の家族の一員”として暮らしや生活を共にすることを大切にしています。2019年には4000名以上の民泊受け入れを成功し、2020年からのコロナウイルスでの休止を経て2022年秋から本格的に受入再開となりました。修学旅行から個人での訪問まで、様々な形でご利用いただけます。

【注意事項】

下記、特記ステータス、備考欄を参照ください。

■ 特記ステータス（教育旅行受入の場合）

所在地	〒209-2208 岩手県陸前高田市広田町字山田52-6		
種別	体験	料金	1泊2食9,500円 2泊5食19,500円（いずれも税別）
受入人数	300	所要時間	1泊～2泊（行程による）
営業時期	年末年始、お盆期間以外	営業時間	特になし
集合場所	夢アリーナたかた※規模によって変更がございます	解散場所	夢アリーナたかた※規模によって変更がございます
駐車場状況	大型バス収容可能（8台以上）	現地ガイド	事務局の現地対応あり（1名～2名）
予約申込期限	6ヶ月前	業者コミッション	1泊の場合/1,000円（税込）、2泊の場合/2,000円（税込）
問合せ先	TEL：0192-47-5747 FAX：0192-47-5747		

備考

（※）一般団体料金等について記載のこと。

＜記載例＞

● 二次交通情報

交通機関	
利用可能	

● 付近の情報（昼食場／その他観光施設等）

付近情報	【ガイド】高田松原津波復興祈念公園パークガイド
	【見学】東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMI（つなみ）メモリアル）
	【土産】道の駅高田松原

● 担当者写真



● 担当者連絡先（名刺コピー貼付可）

特定非営利活動法人SET
交流部 渡邊拓也
Tel/Fax：0192-47-5747
Mail：takataminpaku@nposet.com

利用案内

開館時間：午前9時から午後5時まで
(最終入館は午後4時30分まで)

休館日：12月29日から翌年の1月3日まで
：月曜日(祝日・休日の場合は翌日)

観覧料：無料(特別展示を行う場合は、展示内容に応じ、観覧料を徴収する場合があります)

お願い

- ・展示資料には、手を触れないでください。
- ・展示室内では携帯電話での通話をご遠慮ください。
- ・撮影禁止マークの展示資料の撮影及びフラッシュ撮影は、ご遠慮ください。また、三脚や自撮り棒の使用もできません。
- ・展示室内での飲食はご遠慮ください。
- ・敷地内での喫煙はご遠慮ください。
- ・その他スタッフの指示に従ってください。

平面図



アクセス

1 公共交通機関

【一ノ関駅より】

- (1) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (2) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で陸前高田駅まで約40分
- (3) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

【花巻空港より】

- (1) JR 花巻空港駅より JR 東北本線一ノ関行きで JR 一ノ関駅まで約1時間
- (2) JR 一ノ関駅より JR 大船渡線で JR 気仙沼駅まで約1時間20分
- (3) JR 気仙沼駅より JR 大船渡線 BRT で JR 陸前高田駅まで約40分
- (4) JR 陸前高田駅より徒歩約1分

※ なお、花巻空港から自動車をご利用の場合、県道286号等を経由して約1時間30分

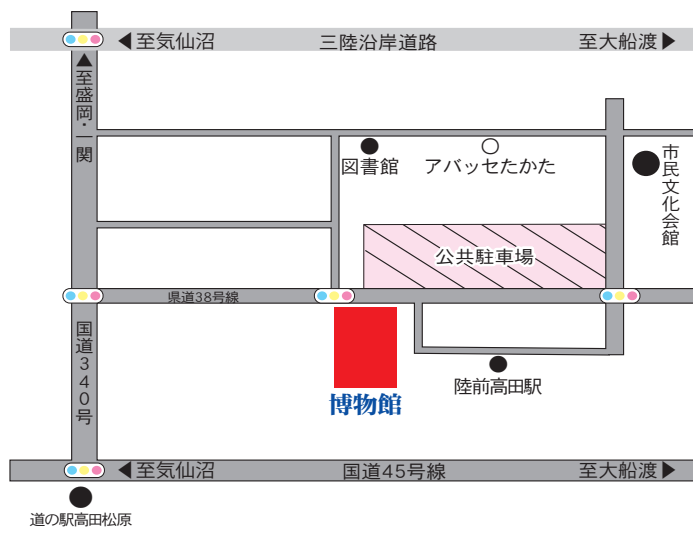
2 自動車

- ・三陸沿岸道路陸前高田 IC より約5分
- ・釜石道宮守 IC より国道107号・340号経由で約50分
- ・東北道一関 IC より県道19号、国道343号・340号経由で約1時間20分

※ 上記交通手段の所要時間などはおおよその目安時間です。
ご利用の際は、最新の時刻表等をご確認のうえお出かけください。
※ 駐車場はアバッセたかた前の公共駐車場をご利用ください。

3 タクシー

- ・(株)気仙タクシー 0192-55-3241
- ・(有)高田交通タクシー 0192-56-2000
- ・高田タクシー(有) 0192-55-3118



陸前高田市立博物館

〒029-2205

住所：岩手県陸前高田市高田町字並杉300番地1

TEL：(0192) 54-4224

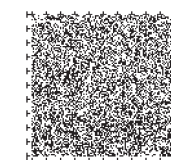
FAX：(0192) 54-4225



ホームページ

陸前高田市立博物館

RIKUZENTAKATA CITY MUSEUM



このマークは目の不自由な方のための「音声コード」です。

9 発見の部屋



陸前高田市の自然や歴史、文化などについて遊びながら学ぶことのできるコーナーです。

8 貝たちの部屋



世界各地から集めた約2,000点の貝類標本を展示します。

7 よみがえる博物館



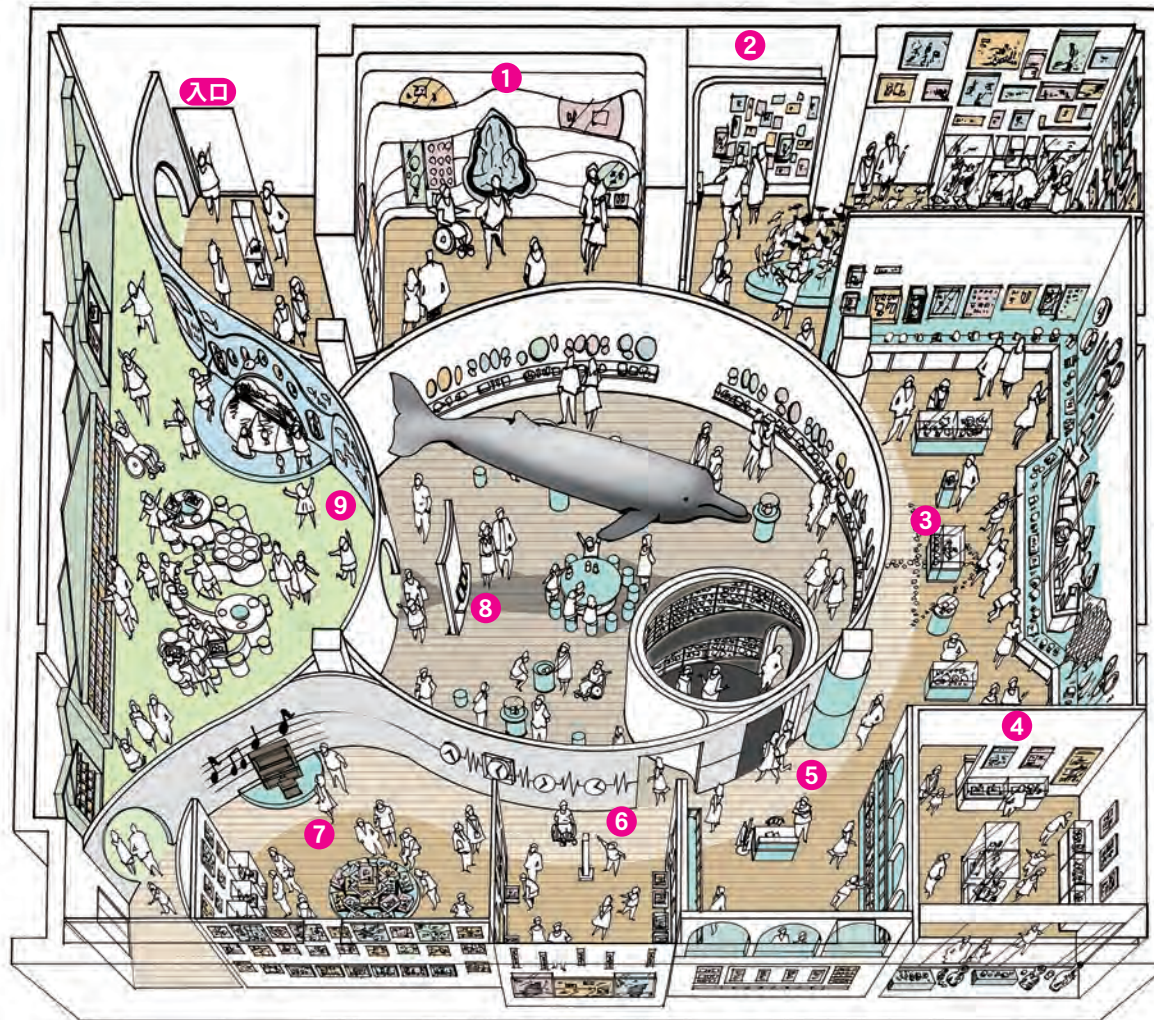
被災した文化財の救出と、全国の博物館などの協力によってよみがえりつつある過程を、安定化処理や修復の技術とともに紹介します。

6 宿命とともに生きる



陸前高田を襲った津波の歴史と教訓を紹介します。

陸前高田の豊かな自然・歴史・文化を、震災の記憶とともに未来へ伝え、地域に根差し、活力あるまちづくりを推進する総合博物館



5 博物学の世界



本市の博物学者である鳥羽源藏、その愛弟子・千葉蘭児の業績や貴重なコレクションを紹介します。

4 資料が語る陸前高田の歴史



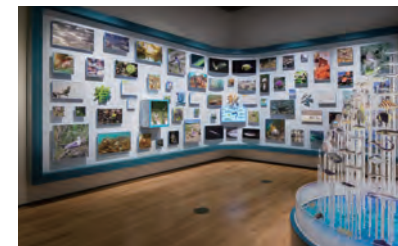
陸前高田の歴史や民俗を語るうえで欠かすことのできない様々な資料を展示します。

1 大地の成り立ち



日本列島の成り立ちを知る上で、重要な地域である陸前高田の大地。岩石や化石標本とともにその生い立ちをたどります。

2 奇跡の海 三陸



魚の王国と呼ばれる三陸の海、そして豊かな海を支える陸前高田の山から川・海への生物の多様性を四季と環境とともに紹介します。

3 海をあがめ 海にあらがわず 海と生きる



広田湾周辺に広がる貝塚をとおり縄文の海の豊かさを伝えるとともに、その中から発達してきた漁撈用具を使用方法と合わせて紹介します。

団体連絡先一覧

各プログラムに関する詳細や資料請求については下記連絡先へお願いいたします。

- ・ **一般社団法人陸前高田市観光物産協会**（担当：小林）

電話：0192-54-5011

Mail：rikutaka-kankou@crest.ocn.ne.jp

- ・ **一般社団法人マルゴト陸前高田**（担当：古谷・齊藤）

電話：0192-22-7410

Mail：info@mrgt.or.jp

- ・ **東日本大震災津波伝承館**（担当：小野）

電話：0192-47-4455

Mail：AJ0007@pref.iwate.jp

- ・ **陸前高田ワタミオーガニックランド**（担当：部谷(ヒタニ)）

電話：0192-53-2610

Mail：info-rt-organic@watami.net

- ・ **岩手県立野外活動センター**（担当：及川）

電話：0192-22-9800

Mail：hamaline@sposhin.echna.ne.jp

- ・ **特定非営利活動法人SET**（担当：渡邊）

電話：0192-47-5747

Mail：takataminpaku@nposet.com

- ・ **陸前高田市立博物館**（担当：浅川）

電話：0192-54-4224